



災害時に備え、避難訓練実施 (上深野、上香楽自治会)

11月24日に上深野、上香楽自治会の合同避難訓練を実施しました。

大雨・洪水警報及び土砂災害警戒情報が発表され、引き続き猛烈な雨が降り続くことが予想され、両地区に避難勧告が発令されたという想定のもと、午前9時50分に防災無線、携帯電話のエリアメール、消防団等による地区内の広報活動により避難勧告を周知し、訓練を開始しました。

地区内を6班に分類し、避難誘導係や要援護者役などを決め、避難所であるテクノスマイルまで車椅子やリアカーなどを利用し、徒歩で避難路を確認しながら避難しました。



また、数日間避難所で生活することを想定し、各自防災持ち出し品を持参し、中身の確認など行いました。体育館での報告集会では、災害研究所の伊永勉所長から「実際の災害時は、悪天候の中での避難や混乱も予想され、落ち着いて行動することや日頃から防災に対する意識を持つことが重要である」など講評がありました。参加者は、「災害時の実体験が出来、防災グッズの品目などあらためて準備しようと思う」、「避難ルートの確認や避難時の注意点など学ぶ事が多かった」など防災について考え直す機会となりました。

最後に、グラウンドにおいて消防署員による消火器訓練を実施し、避難訓練を終わりました。参加されたみなさま、お疲れ様でした。今後も、町内各地区での避難訓練等計画し、実施してみたいかと思いますが、みなさまのご協力をお願いします。

～各家庭で防災への備えをお願いします。～



●いざという時のために、「家族防災会議」を行い、家族の役割、避難場所や連絡方法など、日頃からよく話し合っておきましょう。



●非常持ち出し品などを準備しておきましょう。一人に対して準備が必要なものや、家族で準備するものなどいろいろな場合を想定し準備、点検しておきましょう。



●家具が倒れたり、ガラスが飛散したり、通路が倒れた家具等でふさがらないように、家の中の安全を点検しましょう。災害時の被害を最小限に抑えるためには、日頃から身の回りを点検し、不備な点を整備することが大切です。



風水害に対する心構え

近年、異常気象と言われるようになり、台風の大型化や局地的な集中豪雨など頻発しています。地震と違って、台風や豪雨はある程度の到来を予測することができます。

普段から気象情報に十分注意を払い、万全の対策を講じておくことが大切です。

土砂崩れや河川の氾濫などの恐れがある地域では特に、気象情報に注意し、いつでも避難できるように準備しておきましょう。



※今年の5月を目途に、築上町ハザードマップを見直し、全戸配布する予定です。
いつでも手に取れる場所に保管し、自分の住んでいる地区の状況をご確認ください。
※平成27年1月10日(土)10時から浜の宮グラウンドで消防出初式が開催されます。
11時頃から浜の宮大橋付近城井川両岸で祝賀放水を行います。ぜひ、ご観覧ください。